

8/29
玉津

自然増 18% 抑え込み

社会保障費 15年度比

厚労省概算要求
厚生労働省は26日、
2016年度予算の概
算要求を発表しまし

た。高齢化に伴う医療
・年金などの社会保障
費の自然増は、今年度
の概算要求より1.5%
0億円、18%減の67

一般会計総額は前年
度当初比2.5%増の
30兆6675億円とな
り、4年連続で30兆円
を突破しました。

医療では、国民健康
保険制度の改悪を受け
て、都道府県による国
保の財政運営に向けて
情報流出事件を受けて
個人情報をインターネット
から切り離すため
のシステム改修を盛り
込んでいます。

介護保険では、今年
でいるためです。
一方、消費税増税分
を充てる社会保障「充
実」については、今後
の予算編成で決めるた
め、職員配置の改善な
ど保育の質改善、診療
報酬改定など要求項目
だけを掲げました。

雇用では、「過重労働
解消」「非正規労働者
の正社員転換」を掲げ
ながら、労働者派遣改
悪や残業代ゼロ制度な
ど逆行する施策の実施
を盛り込んでいます。

日本年金機構の個人

から始まった要支援者
サービスの市町村の総
合事業への置き換えを
引き続き推進します。

保育所増設や保育士
確保に906億円、ひ
とり親家庭の子どもの
学習支援などを盛り込
みました。